

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                      |      |             |
|-----------|----------------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション I  |      | ( THB201 )  |
| 講義名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション IC |      | ( THB201C ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科          | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2                  | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 中村 久子                | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 中村 久子                | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |                      | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |                      | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。        |
| 全体的内容と概要      | N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。 |
| 授業時間外の学修      |   |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |   |
|---------------|-------------------------------|---|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容  |
| 1             | N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | 自己紹介 授業の進め方 ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第1回<br>20日で合格N1 |
| 2             | N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。     | ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第2回<br>20日で合格N1 課題配布        |
| 3             |                               | 演習問題  |
| 4             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第3回<br>20日で合格N1 課題提出        |
| 5             | N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第4回<br>20日で合格N1 課題配布？       |
| 6             | N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。     | ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第1回<br>20日で合格N1           |
| 7             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第2回<br>20日で合格N1           |
| 8             | N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第3回<br>20日で合格N1           |
| 9             | N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。     | ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第4回<br>20日で合格N1           |
| 10            |                               | JLPT模試                                      |
| 11            |                               | JLPT模試<br>7/2JLPT                           |
| 12            | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN1聴解 概要理解第1回<br>20日で合格N1             |
| 13            | N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN1聴解 概要理解第3回<br>20日で合格N1             |
| 14            |                               | 前期期末試験                                      |
| 15            |                               | 前期期末試験FB                                    |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | ドリル&ドリル聴解 N1<br>TRY!N1文法         |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                      |      |             |
|-----------|----------------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション I  |      | ( THB201 )  |
| 講義名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション ID |      | ( THB201D ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科          | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2                  | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 中村 久子                | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 中村 久子                | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |                      | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |                      | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。        |
| 全体的内容と概要      | N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。 |
| 授業時間外の学修      |   |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |  |
|---------------|-------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容   |
| 1             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | 自己紹介 授業の進め方 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第1回<br>TRY! N2文法 |
| 2             | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第2回<br>TRY! N2文法 課題配布        |
| 3             |                               | 演習問題   |
| 4             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第3回<br>TRY! N2文法 課題提出        |
| 5             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第4回<br>TRY! N2文法 課題配布?       |
| 6             | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第5回<br>TRY! N2文法             |
| 7             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第1回<br>TRY! N2文法           |
| 8             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第2回<br>TRY! N2文法           |
| 9             |                               | JLPT模試                                       |
| 10            |                               | JLPT模試                                       |
| 11            |                               | JLPT模試<br>7/2JLPT                            |
| 12            | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第3回<br>TRY! N2文法           |
| 13            | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第4回<br>TRY! N2文法           |
| 14            |                               | 前期期末試験                                       |
| 15            |                               | 前期期末試験FB                                     |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | ドリル&ドリル聴解 N2<br>TRY!N2文法         |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                      |             |      |
|-----------|----------------------|-------------|------|
| 科目名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション I  | ( THB201 )  |      |
| 講義名 (コード) | ホスピタリティ・コミュニケーション IE | ( THB201E ) |      |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科          | 配当学年        | 2年生  |
| 対象コース     | HB2                  | 単位数         | 2単位  |
| 授業担当者     | 中村 久子                | 時間数         | 30時間 |
| 成績評価教員    | 中村 久子                | 講義期間        | 春学期  |
| 実務者教員     |                      | 履修区分        | 必修   |
| 実務者教員特記欄  |                      | 授業形態        | 講義   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。        |
| 全体的内容と概要      | N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。 |
| 授業時間外の学修      |   |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |  |
|---------------|-------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容   |
| 1             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | 自己紹介 授業の進め方 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第1回<br>総まとめ 文法N2 |
| 2             | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第2回<br>総まとめ 文法N2 課題配布        |
| 3             |                               | 演習問題   |
| 4             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第3回<br>総まとめ 文法N2 課題提出        |
| 5             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第4回<br>総まとめ 文法N2 課題配布？       |
| 6             | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第5回<br>総まとめ 文法N2             |
| 7             | 場面に適した語彙や表現を正しく習得する。          | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第1回<br>総まとめ 文法N2           |
| 8             | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第2回<br>総まとめ 文法N2           |
| 9             |                               | JLPT模試                                       |
| 10            |                               | JLPT模試                                       |
| 11            |                               | JLPT模試<br>7/2JLPT                            |
| 12            | N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。    | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第3回<br>総まとめ 文法N2           |
| 13            | N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。 | ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第4回<br>総まとめ 文法N2           |
| 14            |                               | 前期期末試験                                       |
| 15            |                               | 前期期末試験FB                                     |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | ドリル&ドリル聴解 N2<br>総まとめ 文法N2        |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | コラボレーション演習 I  |      | ( THB203 )  |
| 講義名 (コード) | コラボレーション演習 IC |      | ( THB203C ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2           | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 渋谷里美          | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 渋谷里美          | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |               | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | プレゼンテーション   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。            |
| 全体的内容と概要      | 時事問題などを中心に現代社会における諸問題を多国籍の学生との意見交換や発表を通して深く多角的な視点で理解し、国際社会の一員としての教養を身につける。                     |
| 授業時間外の学修      | 提示されたテーマについて理解を深めるために予習が必須である。   |
| 履修上の注意事項等     | 自身の考えをまとめ、明確に表現するため、積極的に授業に参加する姿勢が必要となる。期末試験として面接を実施する予定。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。 |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                       |  |
|---------------|---------------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                                  | 授業内容   |
| 1             | 授業の内容・目的を理解することができる                   | ガイダンス（年間授業スケジュール）<br>目標設定                              |
| 2             | 時事問題① 気になるニュースについてより深く調べることができる。      | ニュースについて意見交換<br>『20日で合格N1』 第1回 文法                      |
| 3             | 時事問題② 気になるニュースについてより深く調べることができる。      | ニュースについて必要な情報を得て、自身の考えをまとめる。                           |
| 4             | 時事問題③ 時事についてグループごとに意見をまとめることができる。     | 【グループワーク】 ニュースについて意見交換し考えをまとめる。<br>『20日で合格N1』 第2回 文法   |
| 5             | 時事問題④ 気になるニュースについてより深く調べることができる。      | ニュースについて意見交換<br>『20日で合格N1』 第3回 文法                      |
| 6             | 時事問題⑤ 社会的問題についてより深く調べることができる。         | 社会問題について自国の例などを挙げながら意見交換する<br>『20日で合格N1』 第4回 文法        |
| 7             | 時事問題⑥ 気になるニュースについてより深く調べることができる。      | ニュースについて意見交換<br>『20日で合格N1』 第5回 文法                      |
| 8             | 時事問題⑦ 日本の現代文化について学ぶ①                  | 日本の地勢や土地柄を知る。<br>『20日で合格N1』 第6回 文法                     |
| 9             | 時事問題⑧ 日本の現代文化について学ぶ②                  | 【グループワーク】 興味を持った地域について深掘りし、詳しい情報を得る。                   |
| 10            | 時事問題⑨ 日本の現代文化について学ぶ③                  | 【グループワーク】 興味を持った地域について、その魅力を紹介する。<br>『20日で合格N1』 第8回 文法 |
| 11            | 自己分析① マナーの良い面接について学び、自身について述べることができる。 | 面接について考え、自己を分析し経歴を簡潔に述べることができる。<br>『20日で合格N1』 第9回 文法   |
| 12            | 自己分析② 深い内容の次に答えることができる。               | 深い内容の質疑について、自身の考え述べるることができる。<br>『20日で合格N1』 第10回 文法     |
| 13            | 面接① マナーよく面接に臨み、基本的な質問だけでなく深い内容にも答えられる | 面接   |
| 14            | 期末試験                                  | 学期試験   |
| 15            | 追試・フィードバック                            | Feedback   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 『20日で合格N1』                       |
| 参考文献・資料等              | 適宜配布                             |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                |      |             |
|-----------|----------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | コラボレーション演習 I   |      | ( THB203 )  |
| 講義名 (コード) | コラボレーション演習 I D |      | ( THB203D ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科    | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2            | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 伊東 かつみ         | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 伊東 かつみ         | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |                | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |                | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。 |
| 全体の内容と概要      | 日本語の読解文を読み、日本語で議論し、自分の考えをまとめ文章で表現する。  |
| 授業時間外の学修      |   |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |  |                               |   |
|--------|--|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                            | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                      | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価   | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S  | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A  | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B  | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C  | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D  | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能   | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                              |   |
|---------------|------------------------------|---|
| 回             | 到達目標                         | 授業内容                                    |
| 1             |                              | オリエンテーション（自己紹介・授業の説明）                   |
| 2             | 身近な題材を理解し話し合うことができる。         | 読解厳選テーマ初中級 テーマ1 内容把握                    |
| 3             | 自分の考えや意見を他者に伝える力を養う。         | 読解厳選テーマ初中級 テーマ1 発表<br>グループワーク、(ディクトグロス) |
| 4             | 身近な題材から自分の母国を比較して考えることができる。  | 読解厳選テーマ初中級 テーマ2 内容把握<br>副詞から内容を理解       |
| 5             | 自分の母国を通して自分と言う人間について他者に説明する。 | 読解厳選テーマ初中級 テーマ2 発表<br>ペア演習              |
| 6             | 日本の問題について多様な観点から話し合うことができる。  | 読解厳選テーマ初中級 テーマ3 内容把握<br>助詞の理解と文の構成      |
| 7             | 一つの問題について多様な観点で検討し自分の意見をまと   | 読解厳選テーマ初中級 テーマ3 発表<br>グループワーク N2 読解練習   |
| 8             | 一つのテーマから未来について考える力を養う。       | 面接の基礎、面接ワーク                             |
| 9             | 自分の意見や考えを伝えることで自分のアピールを行う。   | 面接ペア演習、個人発表と批評                          |
| 10            | N2の理解と正解の選び方の理解              | 動詞の活用から 理解N2 読解練習                       |
| 11            | N2の答え反射練習                    | N2特訓、読解練習                               |
| 12            | 読解の技術をマスター                   | 読解厳選テーマ初中級 テーマ4 発表                      |
| 13            | 読解の技術をマスター                   | 読解厳選テーマ初中級 テーマ5 発表<br>テストの練習            |
| 14            | 前期試験                         | 試験                                      |
| 15            | 前期定期試験解説                     | 間違いのフィードバック                             |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 読解厳選テーマ初中級                       |
| 参考文献・資料等              | N2 模擬テスト資料                       |
| 備考                    | 授業の進度については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | コラボレーション演習 I  |      | ( THB203 )  |
| 講義名 (コード) | コラボレーション演習 IE |      | ( THB203E ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2           | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 中村 久子         | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 中村 久子         | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |               | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。 |
| 全体の内容と概要      |   |
| 授業時間外の学修      |   |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |                              |
|---------------|-------------------------------|------------------------------|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容                         |
| 1             |                               | オリエンテーション（自己紹介・授業の説明）        |
| 2             | 身近な題材を理解し話し合うことができる。          | 読解厳選テーマ初中級 テーマ1 内容把握<br>面接練習 |
| 3             | 自分の考えや意見を他者に伝える力を養う。          | 読解厳選テーマ初中級 テーマ1 発表<br>面接練習   |
| 4             | 身近な題材から自分の母国を比較して考えることができる。   | 読解厳選テーマ初中級 テーマ2 内容把握<br>面接練習 |
| 5             | 自分の母国を通して自分と言う人間について他者に説明する。  | 読解厳選テーマ初中級 テーマ3 発表<br>面接練習   |
| 6             | 日本の問題について多様な観点から話し合うことができる。   | 読解厳選テーマ初中級 テーマ4 内容把握<br>面接練習 |
| 7             | 一つの問題について多様な観点で検討し自分の意見をまとめる。 | 読解厳選テーマ初中級 テーマ4 発表<br>面接練習   |
| 8             | 一つのテーマから未来について考える力を養う。        | 読解厳選テーマ初中級 テーマ5 内容把握<br>面接練習 |
| 9             | 自分の意見や考えを伝えることで自分のアピールを行う。    | 読解厳選テーマ初中級 テーマ5 発表<br>面接練習   |
| 10            | 自分の意見や考えを伝えることで自分のアピールを行う。    | 読解厳選テーマ初中級 テーマ5 発表<br>面接演習   |
| 11            | テーマを把握して適切な回答をする力を身につける。      | 面接総合練習                       |
| 12            |                               | 面接総合練習                       |
| 13            | 前期定期試験                        |                              |
| 14            | 前期定期試験解説                      |                              |
| 15            |                               | 前期の総復習                       |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |   |
|-----------------------|---|
| 教科書                   | 読解厳選テーマ初中級  |
| 参考文献・資料等              |   |
| 備考                    | 授業の進度については、クラスの状況により変更する場合があります。<br>シラバスの内容は順番が前後することがあります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |            |      |
|-----------|-------------|------------|------|
| 科目名 (コード) | 観光ビジネス戦略 I  | ( THB211 ) |      |
| 講義名 (コード) | 観光ビジネス戦略 I  | ( THB211 ) |      |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年       | 2年生  |
| 対象コース     | HB2         | 単位数        | 2単位  |
| 授業担当者     | 辻野 啓一       | 時間数        | 30時間 |
| 成績評価教員    | 辻野 啓一       | 講義期間       | 春学期  |
| 実務者教員     |             | 履修区分       | 必修   |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態       | 講義   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 観光の新しい扉を開く tourismとして注目されているNew Tourismについてまなび、その特徴を活かして地方創生のヒントが導き出せるようになる。                         |
| 全体的内容と概要      | 地方創生や、かつて隆盛を極めていたが、地盤沈下を起こしている観光地を元気にする切り札としてNEW Tourismが注目されている。どのようなNew Tourismがあり、それをどう活用できるかを学ぶ。 |
| 授業時間外の学修      | <b>6月15日(日)、6月22日(日)</b> 二班に分けて飯能にてエコツアーのオプションツアーに参加する。  |
| 履修上の注意事項等     | 上記オプションツアーの代金、 <b>一人4千円かかるので自由参加とする</b> が、学びの多い、充実した内容のツアーなので一人でも多くの人に参加してほしい。ツアーの時間10:00~15:00      |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                            |   |
|---------------|----------------------------|---|
| 回             | 到達目標                       | 授業内容  |
| 1             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | オリエンテーション   |
| 2             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | エコツーリズム①<br>環境と観光を両立できるTourismとして注目されるエコツーリズムについて学ぶ |
| 3             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | エコツーリズム②<br>日本のエコツーリズム                              |
| 4             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | エコツーリズム③<br>海外のエコツーリズム                              |
| 5             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | Food Tourism 事例研究① 「富士宮の焼きそば」の例                     |
| 6             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | Food Tourism 事例研究②「欧州の食都」サンセバスチャンの例                 |
| 7             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | ロケーションツーリズム 国内の事例                                   |
| 8             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | ロケーションツーリズム 海外の事例                                   |
| 9             | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | 飯能のエコツーリズムの研究①<br><b>6月15日（日）飯能現地研修①</b>            |
| 10            | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | 飯能のエコツーリズムの研究②<br><b>6月22日（日）飯能現地研修②</b>            |
| 11            | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | 発表資料づくり   |
| 12            | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | 発表①   |
| 13            | New Tourismの形態、地方創生への効果を学ぶ | 発表②   |
| 14            | <b>試験</b>                  |   |
| 15            | <b>追試</b>                  |   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   | 私の作成した講義資料を使用  |
| 参考文献・資料等              | 「エコツーリズムを学ぶ人のために」 真板昭夫 他 著（世界思想社）<br>「地域おこしに役立つ！ みんなで創るフェノロジーカレンダー」（旬報社） |
| 備考                    | 飯能のオプションルツアー参加希望者はアルバイト先と前広に調整をしておくこと                                    |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                 |            |      |
|---------------|-----------------|------------|------|
| 科目名 (コード)     | リスクとコンプライアンス IA | ( THB213 ) |      |
| 講義名 (コード)     | リスクとコンプライアンス IA | ( THB213 ) |      |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科     | 配当学年       | 2年生  |
| 対象コース         | HB2             | 単位数        | 2単位  |
| 授業担当者         | 福井 琢也           | 時間数        | 30時間 |
| 成績評価教員        | 福井 琢也           | 講義期間       | 春学期  |
| 実務者教員         |                 | 履修区分       | 選択   |
| 実務者教員特記欄      |                 | 授業形態       | 講義   |

| 2. 本授業科目の概要   |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 社会人として知っておくべきコンプライアンス、情報モラルや情報セキュリティを身に付けることを目的とし、本授業終了後に、自らリスク管理できることを到達目標とする。 |
| 全体の内容と概要      | 基本的な企業のコンプライアンスを事例クイズ形式で実施し、また情報セキュリティ(春学期)、情報モラル(秋学期)は基本的知識を学び、小テストで確認する。      |
| 授業時間外の学修      | 授業で学んだ知識を復習すること。  |
| 履修上の注意事項等     |   |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |   |                               |   |
|------------------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |      |   |
|---------------|------|---|
| 回             | 到達目標 | 授業内容  |
| 1             | 小テスト | コンプライアンスとは何か？<br>情報リスクとは何か？                       |
| 2             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス1回目）  |
| 3             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス2回目）  |
| 4             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス3回目）  |
| 5             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（スパイウェア）    |
| 6             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス1回目） |
| 7             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス2回目） |
| 8             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則4回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス3回目） |
| 9             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（事例研究1回目）   |
| 10            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（事例研究2回目）   |
| 11            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（復習）        |
| 12            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務4回目）<br>リスク：情報セキュリティ（確認テスト）     |
| 13            | 小テスト | コンプライアンス：予備<br>リスク：予備                             |
| 14            | 期末試験 | 期末試験実施  |
| 15            | 追試   | 追試実施  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 教科書                   | コンプライアンスの基本 角川出版 / 情報倫理ハンドブック noa出版 |
| 参考文献・資料等              | その他資料については、適宜掲示する。                  |
| 備考                    | 授業の進度については、クラスの状況により変更する場合があります。    |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                 |             |
|-----------|-----------------|-------------|
| 科目名 (コード) | リスクとコンプライアンス IB | ( THB213 )  |
| 講義名 (コード) | リスクとコンプライアンス IB | ( THB213 )  |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科     | 配当学年<br>2年生 |
| 対象コース     | HB2             | 単位数<br>2単位  |
| 授業担当者     | 福井 琢也           | 時間数<br>30時間 |
| 成績評価教員    | 福井 琢也           | 講義期間<br>春学期 |
| 実務者教員     |                 | 履修区分<br>選択  |
| 実務者教員特記欄  |                 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 社会人として知っておくべきコンプライアンス、情報モラルや情報セキュリティを身に付けることを目的とし、本授業終了後に、自らリスク管理できることを到達目標とする。 |
| 全体の内容と概要      | 基本的な企業のコンプライアンスを事例クイズ形式で実施し、また情報セキュリティ(春学期)、情報モラル(秋学期)は基本的知識を学び、小テストで確認する。      |
| 授業時間外の学修      | 授業で学んだ知識を復習すること。  |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |      |   |
|---------------|------|---|
| 回             | 到達目標 | 授業内容  |
| 1             | 小テスト | コンプライアンスとは何か？<br>情報リスクとは何か？                       |
| 2             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス1回目）  |
| 3             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス2回目）  |
| 4             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（入社前知識3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（ウィルス3回目）  |
| 5             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（スパイウェア）    |
| 6             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス1回目） |
| 7             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス2回目） |
| 8             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（会社規則4回目）<br>リスク：情報セキュリティ（不正アクセス3回目） |
| 9             | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務1回目）<br>リスク：情報セキュリティ（事例研究1回目）   |
| 10            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務2回目）<br>リスク：情報セキュリティ（事例研究2回目）   |
| 11            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務3回目）<br>リスク：情報セキュリティ（復習）        |
| 12            | 小テスト | コンプライアンス：オフィス（社内業務4回目）<br>リスク：情報セキュリティ（確認テスト）     |
| 13            | 小テスト | コンプライアンス：予備<br>リスク：予備                             |
| 14            | 期末試験 | 期末試験実施  |
| 15            | 追試   | 追試実施  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 教科書                   | コンプライアンスの基本 角川出版 / 情報倫理ハンドブック noa出版 |
| 参考文献・資料等              | その他資料については、適宜掲示する。                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。    |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                 |             |      |
|-----------|-----------------|-------------|------|
| 科目名 (コード) | デジタル・マーケティング I  | ( THB215 )  |      |
| 講義名 (コード) | デジタル・マーケティング IA | ( THB215A ) |      |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科     | 配当学年        | 2年生  |
| 対象コース     | HB2             | 単位数         | 2単位  |
| 授業担当者     | 走内 (そうち) 慎一     | 時間数         | 30時間 |
| 成績評価教員    | 走内 (そうち) 慎一     | 講義期間        | 春学期  |
| 実務者教員     |                 | 履修区分        | 選択   |
| 実務者教員特記欄  |                 | 授業形態        | 講義   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | デジタルマーケティングという概念 (がいねん) の理解 (りかい) 、その活用 (かつよう) による理論 (りろん) と実践 (じっせん) のスキルを身に着けることが目的。デジタルスキル標準の到達が目標。        |
| 全体的内容と概要      | デジタルマーケティングという概念 (がいねん) の基礎・応用の用語 (ようご) を覚え、さらに活用する方法論の把握。理論の把握しその実践を織り交ぜ (おりませ) 、デジタルスキルをいかに、身に着けるかカギ。       |
| 授業時間外の学修      | 授業時間外では、次の授業に必要なキーワードを終礼 (しゅうれい) 前に5ないし10ワード提示 (ていじ) します。これらを次の授業までに必ず調べることが次の授業の鍵 (かぎ) です。                   |
| 履修上の注意事項等     | 出席・傾聴 (けいちょう) ・否定しない授業中の質疑応答 (しつぎおうとう) 。教育は、教える (おしえはぐくむ) 教えられ育つ (そだつ) 。相互扶助 (そうごふじょ) 精神 (せいしん) を共有 (きょうゆう) 。 |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                           |  |
|---------------|---------------------------|--|
| 回             | 到達目標                      | 授業内容   |
| 1             | オリエンテーションとマーケティングの基本概念    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• マーケティングとは何か</li> </ul>  |
| 2             | 市場分析とターゲティング              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング (STP)</li> </ul>                              |
| 3             | 4Pと4Cの基本                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 製品 (Product) / 価格 (Price) / 流通 (Place) / プロモーション (Promotion)</li> </ul> |
| 4             | デジタルマーケティングとは             | <ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタルと従来マーケティングの違い</li> </ul>  |
| 5             | Webサイトとコンテンツの重要性          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自社メディアの役割</li> </ul>  |
| 6             | SEO (検索エンジン最適化) とは        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワード選定の方法</li> </ul>   |
| 7             | SNSマーケティング入門              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各SNSの特徴 (Instagram, Twitter, TikTok など)</li> </ul>                      |
| 8             | インフルエンサーマーケティング           | <ul style="list-style-type: none"> <li>• インフルエンサーの種類と選び方</li> </ul>  |
| 9             | デジタル広告 (Google広告、SNS広告など) | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 検索連動型広告、ディスプレイ広告、リマーケティング</li> </ul>                                    |
| 10            | メールマーケティングとCRM            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客との関係構築とLTVの向上</li> </ul>  |
| 11            | 動画マーケティング                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• YouTube、ショート動画、ライブ配信の活用法</li> </ul>                                     |
| 12            | 口コミ・レビューの活用               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客の声をマーケティングに活かす</li> </ul>   |
| 13            | デジタルマーケティングのKPIと効果測定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 指標例 (PV, CVR, CPA, ROASなど)</li> </ul>                                   |
| 14            | 期末試験                      | 期末試験実施   |
| 15            | 追試                        | 追試実施   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | デジタルマーケティングの教科書                  |
| 参考文献・資料等              | その他資料については、適宜掲示する。               |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                 |             |      |
|---------------|-----------------|-------------|------|
| 科目名 (コード)     | デジタル・マーケティング I  | ( THB215 )  |      |
| 講義名 (コード)     | デジタル・マーケティング IB | ( THB215B ) |      |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科     | 配当学年        | 2年生  |
| 対象コース         | HB2             | 単位数         | 2単位  |
| 授業担当者         | 走内 (そうち) 慎一     | 時間数         | 30時間 |
| 成績評価教員        | 走内 (そうち) 慎一     | 講義期間        | 春学期  |
| 実務者教員         |                 | 履修区分        | 選択   |
| 実務者教員特記欄      |                 | 授業形態        | 講義   |

| 2. 本授業科目の概要   |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | デジタルマーケティングという概念 (がいねん) の理解 (りかい) 、その活用 (かつよう) による理論 (りろん) と実践 (じっせん) のスキルを身につけることが目的。デジタルスキル標準の到達が目標。        |
| 全体的内容と概要      | デジタルマーケティングという概念 (がいねん) の基礎・応用の用語 (ようご) を覚え、さらに活用する方法論の把握。理論の把握しその実践を織り交ぜ (おりませ) 、デジタルスキルをいかに、身につけるかカギ。       |
| 授業時間外の学修      | 授業時間外では、次の授業に必要なキーワードを終礼 (しゅうらい) 前に5ないし10ワード提示 (ていじ) します。これらを次の授業までに必ず調べることが次の授業の鍵 (かぎ) です。                   |
| 履修上の注意事項等     | 出席・傾聴 (けいちょう) ・否定しない授業中の質疑応答 (しつぎおうとう) 。教育は、教える (おしえはぐくむ) 教えられ育つ (そだつ) 。相互扶助 (そうごふじょ) 精神 (せいしん) を共有 (きょうゆう) 。 |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |   |                               |   |
|------------------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                           |  |
|---------------|---------------------------|--|
| 回             | 到達目標                      | 授業内容   |
| 1             | オリエンテーションとマーケティングの基本概念    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• マーケティングとは何か</li> </ul>  |
| 2             | 市場分析とターゲティング              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング (STP)</li> </ul>                              |
| 3             | 4Pと4Cの基本                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 製品 (Product) / 価格 (Price) / 流通 (Place) / プロモーション (Promotion)</li> </ul> |
| 4             | デジタルマーケティングとは             | <ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタルと従来マーケティングの違い</li> </ul>  |
| 5             | Webサイトとコンテンツの重要性          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自社メディアの役割</li> </ul>  |
| 6             | SEO (検索エンジン最適化) とは        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワード選定の方法</li> </ul>   |
| 7             | SNSマーケティング入門              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各SNSの特徴 (Instagram, Twitter, TikTok など)</li> </ul>                      |
| 8             | インフルエンサーマーケティング           | <ul style="list-style-type: none"> <li>• インフルエンサーの種類と選び方</li> </ul>  |
| 9             | デジタル広告 (Google広告、SNS広告など) | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 検索連動型広告、ディスプレイ広告、リマーケティング</li> </ul>                                    |
| 10            | メールマーケティングとCRM            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客との関係構築とLTVの向上</li> </ul>  |
| 11            | 動画マーケティング                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• YouTube、ショート動画、ライブ配信の活用法</li> </ul>                                     |
| 12            | 口コミ・レビューの活用               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客の声をマーケティングに活かす</li> </ul>   |
| 13            | デジタルマーケティングのKPIと効果測定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 指標例 (PV, CVR, CPA, ROASなど)</li> </ul>                                   |
| 14            | 期末試験                      | 期末試験実施   |
| 15            | 追試                        | 追試実施   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | デジタルマーケティングの教科書                  |
| 参考文献・資料等              | その他資料については、適宜掲示する。               |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 科目名 (コード) | 会計・財務論 I    | ( THB217 )  |
| 講義名 (コード) | 会計・財務論 IA   | ( THB217A ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年<br>2年生 |
| 対象コース     | HB2         | 単位数<br>2単位  |
| 授業担当者     | 鈴木 歩        | 時間数<br>30時間 |
| 成績評価教員    | 鈴木 歩        | 講義期間<br>春学期 |
| 実務者教員     |             | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 授業の目的<br>到達目標 | 簿記3級の合格を目指し、進度により2級範囲にも触れる            |
| 全体の内容と概要      | テキストを利用したインプット講義、過去問等を利用したアウトプット講義を行う |
| 授業時間外の学修      | 状況により課題を課す                            |
| 履修上の注意事項等     | 電卓の準備を推奨                              |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |              |         |
|---------------|--------------|---------|
| 回             | 到達目標         | 授業内容    |
| 1             | 前期の復習        | 導入講義    |
| 2             | 基礎概念の理解1     | 講義・演習1  |
| 3             | 基礎概念の理解2     | 講義・演習2  |
| 4             | 商品売買と現金取引の理解 | 講義・演習3  |
| 5             | 掛取引と手形取引の理解  | 講義・演習4  |
| 6             | その他の期中取引の理解  | 講義・演習5  |
| 7             | 決算整理 1の理解    | 講義・演習6  |
| 8             | 決算整理 2の理解    | 講義・演習7  |
| 9             | 決算整理 3の理解    | 講義・演習8  |
| 10            | 後T/Bの作成の理解   | 講義・演習9  |
| 11            | 純資産の部の理解     | 講義・演習10 |
| 12            | 過去問に挑戦する     | 過去問演習1  |
| 13            | 過去問のミスを克服する  | 過去問演習2  |
| 14            | 期末試験         | —       |
| 15            | フィードバック      | —       |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト・トレーニング 日商簿記3級 |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    |                                  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |             |      |
|-----------|-------------|-------------|------|
| 科目名 (コード) | 会計・財務論 I    | ( THB217 )  |      |
| 講義名 (コード) | 会計・財務論 IB   | ( THB217B ) |      |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年        | 2年生  |
| 対象コース     | HB2         | 単位数         | 2単位  |
| 授業担当者     | 鈴木 歩        | 時間数         | 30時間 |
| 成績評価教員    | 鈴木 歩        | 講義期間        | 春学期  |
| 実務者教員     |             | 履修区分        | 必修   |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態        | 講義   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 授業の目的<br>到達目標 | 簿記3級の合格を目指し、進度により2級範囲にも触れる            |
| 全体の内容と概要      | テキストを利用したインプット講義、過去問等を利用したアウトプット講義を行う |
| 授業時間外の学修      | 状況により課題を課す                            |
| 履修上の注意事項等     | 電卓の準備を推奨                              |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |              |         |
|---------------|--------------|---------|
| 回             | 到達目標         | 授業内容    |
| 1             | 前期の復習        | 導入講義    |
| 2             | 基礎概念の理解1     | 講義・演習1  |
| 3             | 基礎概念の理解2     | 講義・演習2  |
| 4             | 商品売買と現金取引の理解 | 講義・演習3  |
| 5             | 掛取引と手形取引の理解  | 講義・演習4  |
| 6             | 他の通期取引の理解1   | 講義・演習5  |
| 7             | 他の通期取引の理解2   | 講義・演習6  |
| 8             | 決算整理 1の理解    | 講義・演習7  |
| 9             | 決算整理 2の理解    | 講義・演習8  |
| 10            | 決算整理 3の理解    | 講義・演習9  |
| 11            | 決算整理 4の理解    | 講義・演習10 |
| 12            | 後T/Bの作成の理解   | 講義・演習11 |
| 13            | 純資産の部理解      | 講義・演習12 |
| 14            | 期末試験         | —       |
| 15            | フィードバック      | —       |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト・トレーニング 日商簿記3級 |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    |                                  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                   |             |
|-----------|-------------------|-------------|
| 科目名 (コード) | サステナビリティとコミュニティ I | ( THB219 )  |
| 講義名 (コード) | サステナビリティとコミュニティ I | ( THB219 )  |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科       | 配当学年<br>2年生 |
| 対象コース     | HB2               | 単位数<br>2単位  |
| 授業担当者     | 渋谷里美              | 時間数<br>30時間 |
| 成績評価教員    | 渋谷里美              | 講義期間<br>春学期 |
| 実務者教員     |                   | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |                   | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 持続可能な地域づくりにおける文化・コミュニティの役割を理解し、実際の事例を通じて、持続可能な社会のためのコミュニティ形成について考える。                          |
| 全体的内容と概要      | 文化・コミュニティと持続可能性の関係や異文化環境での協働作業を通じて、実践的なコミュニティ形成のスキルについて学ぶ。文化財や世界遺産などの具体的な事例を分析し、問題点や解決策を議論する。 |
| 授業時間外の学修      | 提示されたテーマについて理解を深めるための学習が必須である。  |
| 履修上の注意事項等     | 目的意識をもって前向きにテーマに取り組み、自身の考えを他者に伝えたり聞きグループの成果を達成するために積極的に授業に参加する姿勢が必要である。                       |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                          |   |
|---------------|--------------------------|---|
| 回             | 到達目標                     | 授業内容  |
| 1             | 授業の内容・目的を理解することができる      | ガイダンス（年間授業スケジュール）<br>目標設定   |
| 2             | コミュニケーションとコミュニティ形成について学ぶ | コミュニティの基本概念と重要性、コミュニケーションモデル（発信者、受信者、メッセージ、ノイズ、フィードバック）ワークショップ：多文化環境での対話の工夫 |
| 3             | SDGsと持続可能なコミュニティについて考える① | SDGsの概要、各目標について確認し具体的な行動を考える。   |
| 4             | SDGsと持続可能なコミュニティについて考える② | SDGsの概要、各目標について確認し具体的な行動を考える。<br>グループワーク：「持続可能なコミュニティのために何ができるか」            |
| 5             | 異文化コミュニケーションと地域づくりについて学ぶ | 文化の違いとコミュニティの形成への影響を学ぶ。<br>異文化ワークショップ                                       |
| 6             | 世界遺産と地域活性化を考える           | 日本各地の文化的価値と地域との関係を学び、世界遺産による地域経済への影響を考える。<br>グループワーク：世界遺産と地域経済              |
| 7             | 文化財保護と持続可能な地域づくり①        | 文化財の修復プロジェクトと観光への影響を考える。<br>文化財保護と地域住民の協力など具体例を調査し、理解する。                    |
| 8             | 文化財保護と持続可能な地域づくり②        | 伝統的な建築と持続可能な生活、観光と保全のバランスについて考える。<br>グループワーク：地域文化と持続可能性                     |
| 9             | 文化財保護と持続可能な地域づくり③        | 伝統的な建築と持続可能な生活、観光と保全のバランスについて考える。<br>グループワーク：地域文化と持続可能性の発表                  |
| 10            | 文化の継承と地域①                | 祭りの持つ社会的・文化的役割<br>ワークショップ：伝統文化の継承と現代的課題                                     |
| 11            | 文化の継承と地域②                | 祭りの持つ社会的・文化的役割<br>グループワーク：伝統文化の継承と現代的課題に関する発表                               |
| 12            | 文化・文化財の継承と地域づくり【総合】①     | グループワーク：文化財や世界遺産と持続可能な地域づくりに関する事例を調べる。                                      |
| 13            | 文化・文化財の継承と地域づくり【総合】②     | グループワーク：文化財や世界遺産と持続可能な地域づくりに関する事例を調べて発表する。                                  |
| 14            | 期末試験                     | 学期試験  |
| 15            | 追試・フィードバック               | Feedback  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 特になし                             |
| 参考文献・資料等              | 適宜配布する                           |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                           |            |      |
|---------------|---------------------------|------------|------|
| 科目名 (コード)     | 日本文化資源とまちづくり I            | ( THB221 ) |      |
| 講義名 (コード)     | 日本文化資源とまちづくり I            | ( THB221 ) |      |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科               | 配当学年       | 2年生  |
| 対象コース         | HB2                       | 単位数        | 2単位  |
| 授業担当者         | 辻野 啓一                     | 時間数        | 30時間 |
| 成績評価教員        | 辻野 啓一                     | 講義期間       | 春学期  |
| 実務者教員         | はい                        | 履修区分       | 必修   |
| 実務者教員特記欄      | 本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。 | 授業形態       | 講義   |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 産業ごとの魅力、マーケット牽引する力の原動力が理解でき、その後各産業がどう発展していくかを見極められるようにする。                                      |
| 全体の内容と概要      | 今や観光業におけるインバウンドは輸出産業では2位にあり、2030年には自動車産業を抜き、首位になると期待されている。凄まじいパワーの源は何か？具体的な事例を多数取り上げて産業別に解説する。 |
| 授業時間外の学修      | なるべく旅をし、現地に足を運び現状を実感するように努める。テレビの旅番組を見る。<br>旅行パンフレットを手にとってみる。                                  |
| 履修上の注意事項等     | 講義資料を前広に掲載するので、事前に目を通しておくことが望まれる。  |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |   |                               |   |
|------------------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                   |                                 |
|---------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 回             | 到達目標                              | 授業内容                            |
| 1             | オリエン：授業全体の流れを理解し、産業の全体像を掴めるようになる。 | 半期の流れ、変化するマーケットの現状を学ぶ           |
| 2             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 観光産業の規模の理解。                     |
| 3             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 観光産業の歴史（国内）                     |
| 4             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 観光産業の歴史（海外）                     |
| 5             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | ホテル事業                           |
| 6             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 旅館事業                            |
| 7             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 旅行業①                            |
| 8             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 旅行業② JTB.HIS、近畿ツーリストなど          |
| 9             | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 旅行業③ インバウンド                     |
| 10            | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 鉄道事業：豪華観光列車                     |
| 11            | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | バス事業：おしゃれな深夜バス                  |
| 12            | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | 航空事業：レガシー航空 VS LCC（格安航空）        |
| 13            | 産業ごとの強みの理解とそこから<br>近未来の発展的理解      | テーマパーク：TDL.USJ.ハウステンボス、富士急ハイランド |
| 14            |                                   | 期末試験                            |
| 15            |                                   | フィードバック                         |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   | 私が作成した資料を利用  |
| 参考文献・資料等              | 「USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きにしたのか」森岡毅 著（角川文庫）<br>「「はとバス」ヒットの法則③」江沢伸一 著（潮出版）   |
| 備考                    | <u>旅行業界で38年間の経験を持ち、うち6年間はハワイに駐在。その後、日本エコツーリズム協会で理事・事務局長を5年間務める。観光実務に精通し、特にハワイのDMO成功事例に詳しい。現地でのイベント運営やリピーター創出の観点から、持続可能な観光の実践と魅力創出をリードしてきた。</u> |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |      |             |
|-----------|-------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | ビジネスマナー Ⅲ   |      | ( THB223 )  |
| 講義名 (コード) | ビジネスマナー ⅢC  |      | ( THB223C ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2         | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 槌谷 智子       | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 槌谷 智子       | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |             | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | 就職を意識した会話力向上のために特に敬語運用力を高める。<br>既習の文法や語彙について、日英を通じて運用力を高める。                                |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                          |   |
|--------|---|--------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                          |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%      | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ) | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                     | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                  | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                   | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                   | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                   | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                    | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
|        | F   | 評価不能                     | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。                   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                             |  |
|---------------|-----------------------------|--|
| 回             | 到達目標                        | 授業内容                                       |
| 1             | 語彙の習得<br>敬語の意義を知る           | 20日で合格N1 文字・語彙 第1日<br>「敬語トレーニング」第1章        |
| 2             | 語彙の習得<br>「訪問」のときの表現がわかる     | 20日で合格N1 文字・語彙 第2日<br>「敬語トレーニング」2章1課       |
| 3             | 語彙の習得<br>使用頻度の高い挨拶の言葉の習得    | 20日で合格N1 文字・語彙 第3日 課題<br>「敬語トレーニング」2章2課 課題 |
| 4             | 語彙の習得<br>「声かけ」～「勧誘表現」の習得    | 課題FB 20日で合格N1 文字・語彙 第4日<br>「敬語トレーニング」2章3課  |
| 5             | 語彙の習得<br>「依頼」の会話ができる        | 20日で合格N1 文字・語彙 第5日<br>「敬語トレーニング」2章4課       |
| 6             | 語彙の習得<br>失礼にならない「断る」表現を学ぶ   | 20日で合格N1 文字・語彙 第6日<br>「敬語トレーニング」2章5課       |
| 7             | 語彙の習得<br>「申し出」や「提案」の表現を学ぶ   | 20日で合格N1 文字・語彙 第7日<br>「敬語トレーニング」2章6課       |
| 8             | 語彙の習得<br>「反省」の気持ちを伝えることができる | 20日で合格N1 文字・語彙 第8日<br>「敬語トレーニング」2章7課       |
| 9             | 語彙の習得<br>自分の意見を言う場合の話し方     | 20日で合格N1 文字・語彙 第9日<br>「敬語トレーニング」2章8課       |
| 10            | 語彙の習得<br>尊敬語、謙譲語を使いこなせる     | 20日で合格N1 文字・語彙 第10日<br>「敬語トレーニング」2章9課      |
| 11            | 模擬試験<br>語彙の習得               | JLPT模試<br>20日で合格N1 文字・語彙 第11日              |
| 12            | 敬語表現の復習                     | 20日で合格N1 文字・語彙 第12日<br>敬語表現の復習             |
| 13            | 前期の内容の理解と定着                 | 前期のまとめ                                     |
| 14            | 期末試験                        | 期末試験                                       |
| 15            | 追試・フィードバック                  | フィードバック                                    |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 新にほんご敬語トレーニング<br>20日で合格N1 語彙     |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

| 1. 本授業科目の基本情報 |             |      |             |
|---------------|-------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | ビジネスマナー Ⅲ   |      | ( THB223 )  |
| 講義名 (コード)     | ビジネスマナー ⅢD  |      | ( THB223D ) |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース         | HB2         | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者         | 槌谷 智子       | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員        | 槌谷 智子       | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員         |             | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      |             | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | N2の漢字と語彙を学ぶ。漢字については1年生で習ったことを復習しながら、新出漢字や語彙を増やす。就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。          |
| 授業時間外の学修      | 予習：漢字は事前に3回ずつ書いて意味を確認しておくこと。<br>復習：授業で学んだ漢字の読みと語彙を復習しておくこと。                                |
| 履修上の注意事項等     |  |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |   |                               |   |
|------------------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                |  |
|---------------|----------------|--|
| 回             | 到達目標           | 授業内容   |
| 1             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT1-1<br>パワードリル語彙 1回          |
| 2             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT1-2<br>パワードリル語彙 2回          |
| 3             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT1-3<br>パワードリル語彙 3回          |
| 4             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT1-4<br>パワードリル語彙 4回          |
| 5             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT1-5<br>パワードリル語彙 5回          |
| 6             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 漢字小テスト スピードマスター漢字N2 UNIT2-1<br>パワードリル語彙 6回   |
| 7             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT2-2<br>パワードリル語彙 7回          |
| 8             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT2-3<br>パワードリル語彙 8回          |
| 9             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT2-4<br>パワードリル語彙 9回          |
| 10            | 漢字の習得          | 模擬試験<br>スピードマスター漢字N2 UNIT2-5                 |
| 11            | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 漢字小テスト スピードマスター漢字N2 UNIT 3-1<br>パワードリル語彙 10回 |
| 12            | 漢字の習得<br>語彙の習得 | スピードマスター漢字N2 UNIT 3-2<br>パワードリル語彙 11回        |
| 13            | 前期の内容の理解と定着    | 前期の復習とまとめ                                    |
| 14            | 期末試験           | 学期試験   |
| 15            | 追試・フィードバック     | Feedback                                     |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | スピードマスター漢字N2<br>パワードリル語彙 N2      |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |             |      |
|-----------|-------------|-------------|------|
| 科目名 (コード) | ビジネスマナー Ⅲ   | ( THB223 )  |      |
| 講義名 (コード) | ビジネスマナー ⅢE  | ( THB223E ) |      |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年        | 2年生  |
| 対象コース     | HB2         | 単位数         | 2単位  |
| 授業担当者     | 樋谷 智子       | 時間数         | 30時間 |
| 成績評価教員    | 樋谷 智子       | 講義期間        | 春学期  |
| 実務者教員     |             | 履修区分        | 必修   |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態        | 講義   |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、身近な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | N2レベルの漢字・語彙を学ぶ。漢字や熟語を理解し、正確に読むことができるようにする。漢字については書く練習も行っていく。                               |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                |   |
|---------------|----------------|---|
| 回             | 到達目標           | 授業内容  |
| 1             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第1週1日目2日目<br>パワードリル語彙 1回               |
| 2             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第1週3日目4日目<br>パワードリル語彙 2回               |
| 3             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第1週5日目6日目 課題<br>パワードリル語彙 3回 課題         |
| 4             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 漢字小テスト 総まとめ漢字N2 第2週1日目<br>課題FB パワードリル語彙 4回      |
| 5             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第2週 2日目 3日目<br>パワードリル語彙 5回 集中トレーニング    |
| 6             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第2週 4日目 5日目<br>パワードリル語彙 6回             |
| 7             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第2週6日目第3週1日目<br>パワードリル語彙 7回            |
| 8             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 漢字小テスト 総まとめ漢字N2 第3週 2日目<br>パワードリル語彙 8回          |
| 9             | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第3週 3日目 4日目<br>パワードリル語彙 9回             |
| 10            | 漢字の習得          | JLPT模試文字語彙<br>総まとめ漢字N2 第3週5日目6日目                |
| 11            | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 漢字小テスト 総まとめ漢字N2 第4週1日目<br>パワードリル語彙 10回 集中トレーニング |
| 12            | 漢字の習得<br>語彙の習得 | 総まとめ漢字N2 第4週 2日目 3日目<br>パワードリル語彙 11回            |
| 13            | 前期の内容の理解と定着    | 前期のまとめ  |
| 14            | 期末試験           | 学期試験  |
| 15            | 追試・フィードバック     | Feedback  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 総まとめ漢字N2<br>パワードリル語彙 N2          |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |          |       |
|-----------|-------------|----------|-------|
| 科目名 (コード) | キャリアデザインⅢ   | (THB225) |       |
| 講義名 (コード) | キャリアデザインⅢ   | (THB225) |       |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年     | 2年生   |
| 対象コース     | HB2         | 単位数      | 2単位   |
| 授業担当者     | 榎本          | 時間数      | 30時間  |
| 成績評価教員    | 榎本          | 講義期間     | 春学期   |
| 実務者教員     |             | 履修区分     | 選択    |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態     | 講義・演習 |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 学内に招致する企業・学校を調べ、主体的に就職活動や進路先を主体的に調査・発表する。    |
| 全体の内容と概要      | 将来のキャリアプランを主体的に考え、卒業後の進路を決定するために行動する力を身につける。 |
| 授業時間外の学修      | グループワーク、発表準備、授業課題                            |
| 履修上の注意事項等     | 進捗の状況により変更する場合があります。                         |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                         |  |
|---------------|-------------------------|--|
| 回             | 到達目標                    | 授業内容   |
| 1             | 卒業までの工程を具体化し改めて目標を確認する。 | 進路希望調査/進路希望ごとにグループ分けして、各自の進捗状況について話し合う。マンダラチャートを使って具体的行動計画を作る。         |
| 2             | グループワーク（基礎）             | 進路希望「進学（大学・大学院）」「進学（専門学校）」「就職」「起業」「海外留学」それぞれに分かれて自分の現在の取組みについて話し合う。    |
| 3             | 進学についての理解を深める①          | 3年次編入（国内・海外）の条件、費用、出願方法について調査する。編入先大学の情報をホームページ、進路サイトを通じて調査する。         |
| 4             | 就職についての理解を深める①          | 企業採用担当者から会社説明をしていただき「仕事のやりがい」「働き方」「募集条件」「今後の展望」「求められる人物像」を聴き、進路選択に活かす。 |
| 5             | 起業についての理解を深める①          | 起業までのプロセス、法的要件、外国人が企業するための手続きについて調査する。                                 |
| 6             | グループワーク①                | 進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。               |
| 7             | 企業研究を通じて社会を知る。          | 会社情報を知り、自己の適性を考える。ホームページや就職情報サイト等を通じて企業の魅力を知り応募する場合の書類を作成する。           |
| 8             | ハローワークについて理解する。         | 公共職業安定所（ハローワーク）の登録方法、求人票の見つけ方、面接対策、セミナー活用法を学ぶ。                         |
| 9             | ハローワークについて理解する。         | ハローワークの担当者より活用法を学ぶ。  |
| 10            | グループワーク②                | 進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。               |
| 11            | 在留資格について知る。             | 在留資格変更許可申請の方法を知る。実際に在留資格変更許可申請書を書く。                                    |
| 12            | グループワーク③                | 進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。               |
| 13            | グループワークで話し合った内容を個人発表する。 | 個人発表をもって期末試験とし評価対象とする。ひとり当たり3分でまとめる。                                   |
| 14            | 期末試験                    | 学期試験   |
| 15            | 追試・フィードバック              | Feedback   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   |                                  |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進度については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |      |          |
|-----------|-------------|------|----------|
| 科目名 (コード) | 情報リテラシーⅢ    |      | (THB227) |
| 講義名 (コード) | 情報リテラシーⅢ    |      | (THB227) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生      |
| 対象コース     | HB2         | 単位数  | 2単位      |
| 授業担当者     | 榎本          | 時間数  | 30時間     |
| 成績評価教員    | 榎本          | 講義期間 | 春学期      |
| 実務者教員     |             | 履修区分 | 必須       |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態 | 講義       |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |  |  |
|---------------|---|--|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | officeのwordとPowerPointについてビジネスレベルの技術を身につける。<br>E-typing ( <a href="https://www.e-typing.ne.jp">https://www.e-typing.ne.jp</a> ) でスコア250点以上。 |  |  |
| 全体の内容と概要      | 授業の進め方としては、「ソフト」を「元教材」に近づけるための操作を学習します。ソフトや教材などを使い操作を確認しながら自力での解決を目指し、その後、講師の説明を受け、適切な操作方法を学ぶ。  |  |  |
| 授業時間外の学修      | タイピングアプリを使い、タイピングの速度向上に取り組む。  |  |  |
| 履修上の注意事項等     | officeのバージョンによって、若干操作に誤差が出る場合がある。<br><small>デジタル・ビジネスコースの学生は必ず自分のPCにアプリをインストールしてください (Web版では十分な機能が学べません)</small>                            |  |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                            |                               |   |
|--------|----------------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 操作技術の正確性と完成課題の到達度に評価基準を置く。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%          | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                    | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                         | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                          | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                          | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                          | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                          | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                          | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能                       | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                |  |
|---------------|----------------|--|
| 回             | 到達目標           | 授業内容   |
| 1             | Wordのスキル確認     | ワープロ検定3級程度の速度入力、ビジネス文書作成について、どの程度対応力があるのかを確認、作成した資料をTeams経由で提出                                 |
| 2             | 文章の基本をマスター①    | 1.そろえ(1)、2.フォント、3.罫線、網かけ、4.段落番号、箇条書き、5.段落内の改行、6.段落の並び替え  |
| 3             | 文章の基本をマスター②    | 7.編集記号の表示、8.行全体を選択、9.書式のクリア、10.そろえ(均等割り付け)、11.そろえ(タブマーカー)、12.タブリー                              |
| 4             | 文章の基本をマスター③    | 13.脚注、14.検索、15.置換、16.行間と間隔、17.インデント、18.ルーラー  |
| 5             | 文章の応用をマスター①    | 1.スタイルとは、2.標準、3.表題、4.見出し1、5.見出し2、6.見出しのコツ  |
| 6             | 文章の応用をマスター②    | 7.ナビゲーション、8.アウトライン、9.見出し番号のズレ、10.見出し番号の応用(連番)、11.目次、12.ページ番号                                   |
| 7             | 文章の応用をマスター③    | 13.日付、14.ヘッダー・フッター、15.改ペー(基本)、16.改ページ(応用)、17.ページ余白、18.用紙サイズ、向き                                 |
| 8             | プレゼンの本質理解      | 聞き手(お客様)を説得するためのプレゼン資料作成とは   |
| 9             | PowerPointの基本① | 1.プレゼンの大原則、2.スライドを作り始める前に、3.スライドサイズの調整、  |
| 10            | PowerPointの基本② | 7.フォントの色を設定、8.テキストボックスを整列、9.スライドマスターとは、  |
| 11            | PowerPointの基本③ | 12.シンプルグラフ、13.左グラフ・右メッセージ、14.ワンカラー効果、15.1スライド1グラフ、16.棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ                          |
| 12            | PowerPointの応用① | 17.ビジュアルの効果とは、18.画像を挿入する、19.トリミングを使いこなす、20.画像+文字は“透過”する、21.画像の色でメリハリ、22.多画像効果、23.写真のチョイスはセンス良く |
| 13            | 課題作成           | テーマに基づいた、プレゼンテーション資料をPowerPointを使って作成、提出   |
| 14            | 期末試験           |  |
| 15            | 試験振り返り・追試      | 試験の振り返り、未消化項目、課題の実施  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |       |
|-----------------------|-------|
| 教科書                   | PDF教材 |
| 参考文献・資料等              |       |
| 備考                    |       |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |      |             |
|-----------|-------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | 通訳演習 Ⅲ      |      | ( THB229 )  |
| 講義名 (コード) | 通訳演習 ⅢC     |      | ( THB229C ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2         | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 竹内通子        | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 竹内通子        | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |             | 履修区分 | 選択          |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | N2の文字語彙の復習とN1の読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。           |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                             |                                 |
|---------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 回             | 到達目標                        | 授業内容                            |
| 1             | 案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける | ドリル&ドリル内容理解短文 1～3 番<br>20日で合格N2 |
| 2             | 案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける | ドリル&ドリル内容理解短文 4～6 番<br>20日で合格N2 |
| 3             |                             | 演習問題                            |
| 4             | 案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける | ドリル&ドリル内容理解短文7～10番<br>20日で合格N2  |
| 5             | 小論文・表論文を読み解く力をつける           | ドリル&ドリル内容理解中文 1～2 番<br>20日で合格N2 |
| 6             | 長文を読み解く力をつける                | ドリル&ドリル内容理解長文1番<br>20日で合格N2     |
| 7             | 異なる意見を理解し、立場の違いを読み解く力をつける   | ドリル&ドリル統合理解 1～2 番<br>20日で合格N2   |
| 8             | 長文を読み解き、筆者の意見を理解する力をつける     | ドリル&ドリル主張理解1番<br>20日で合格N2       |
| 9             | 長文を読み解き、筆者の意見を理解する力をつける     | ドリル&ドリル主張理解2番<br>20日で合格N2       |
| 10            | JLPT N1レベルの読解力をつける          | JLPT模試 N1 読解                    |
| 11            | JLPT N1レベルの読解力をつける          | JLPT模試 N1 読解                    |
| 12            | 案内文から必要な情報を読み取る力をつける        | ドリル&ドリル情報検索1～2番<br>20日で合格N2     |
| 13            | 前期の内容を理解し、確実に身につける          | 前期のまとめ                          |
| 14            | 期末試験                        | 学期試験                            |
| 15            | 追試・フィードバック                  | Feedback                        |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | ドリル&ドリル読解 N1<br>20日で合格 語彙 N2     |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |      |             |
|-----------|-------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | 通訳演習 Ⅲ      |      | ( THB229 )  |
| 講義名 (コード) | 通訳演習 ⅢD     |      | ( THB229D ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2         | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 竹内通子        | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 竹内通子        | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |             | 履修区分 | 選択          |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | N2の文字語彙と読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。                 |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |               |  |
|---------------|---------------|--|
| 回             | 到達目標          | 授業内容                                       |
| 1             | 語彙・グラフでの内容理解  | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 10日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 2             | 語彙・比較内容理解     | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 10日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 3             |               | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 ウォーミングアップ⑦<br>20日で合格（語彙） |
| 4             | 語彙・グラフ内容理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 ウォーミングアップ⑧<br>20日で合格（語彙） |
| 5             | 語彙・表理解        | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 11日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 6             | 図・表・比較内容理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 11日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 7             | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 12日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 8             | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 12日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 9             | 文法・接続詞・表理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 復習・応用問題<br>20日で合格（語彙）    |
| 10            |               | JLPT模試                                     |
| 11            |               | JLPT模試                                     |
| 12            | 文法・図・接続詞・副詞理解 | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 13日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 13            | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 13日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 14            | 期末試験          | 学期試験                                       |
| 15            | 追試・フィードバック    | Feedback                                   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2, 20日で合格 語彙 N2  |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合があります。 |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |             |      |             |
|-----------|-------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | 通訳演習 Ⅲ      |      | ( THB229 )  |
| 講義名 (コード) | 通訳演習 ⅢE     |      | ( THB229E ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 2年生         |
| 対象コース     | HB2         | 単位数  | 2単位         |
| 授業担当者     | 竹内通子        | 時間数  | 30時間        |
| 成績評価教員    | 竹内通子        | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員     |             | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |             | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。 |
| 全体的内容と概要      | N2の文字語彙と読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。                 |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                             | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                                       | 出席率 X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)      | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |               |  |
|---------------|---------------|--|
| 回             | 到達目標          | 授業内容                                       |
| 1             | 語彙・グラフでの内容理解  | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 14日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 2             | 語彙・比較内容理解     | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 14日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 3             |               | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 15日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 4             | 語彙・グラフ内容理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 15日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 5             | 語彙・表理解        | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 16日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 6             | 図・表・比較内容理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 16日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 7             | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 ウォーミングアップ⑨<br>20日で合格（語彙） |
| 8             | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 ウォーミングアップ⑩<br>20日で合格（語彙） |
| 9             | 文法・接続詞・表理解    | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 17日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 10            |               | JLPT模試                                     |
| 11            |               | JLPT模試                                     |
| 12            | 文法・図・接続詞・副詞理解 | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 17日目<br>20日で合格（語彙）       |
| 13            | 文法・接続詞・副詞理解   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2 前期のまとめ&復習<br>20日で合格（語彙）  |
| 14            | 期末試験          | 学期試験                                       |
| 15            | 追試・フィードバック    | Feedback                                   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 教科書                   | 必ずできる！ JLPT「読解」N2, 20日で合格 語彙 N2  |
| 参考文献・資料等              |                                  |
| 備考                    | 授業の進度については、クラスの状況により変更する場合があります。 |